

「木の価値を高める奇跡の乾燥技術」という情報！

先日、昔からお世話になっている方から電話があり、新しい杉の乾燥方法があるので、ある人を紹介したいとの事でした。面白い内容だったのでご紹介します。

木材乾燥と言えば、「温度・湿度・風」を管理して行う。というのが一般的な知識です。しかし、今回紹介された乾燥方法は「45℃の多湿空間で乾燥する」という事です。今まで低温除湿乾燥というのにはありましたが、「多湿」という概念は、高温乾燥機で割れを防ぐために乾燥初期の蒸煮による高温セットと言われる処置とはまったく発想が違います。昔から川を利用した木材搬出や輸入材などで行われていた、水中貯木等の発想に近いと思います。板材のサンプルを見せてもらいましたが、表面がしっとりして、色艶がありました。含水率を測ると20%前後で、少しだけ木表側に反りが見られました。



低温での乾燥なので、乾燥後の養生が必要でない為、1週間もあれば加工できるとの事です。構造材もこれで乾燥出来るという事です。期間については分かりません。

この乾燥方法を開発された方は、電気工事会社の社長さんで、木材については素人だからできた発想との事です。もともと環境には造詣が深く、健康に良い環境を作る木材を「経済優先から命優先へ」という発想で、研究されたそうです。木材の水分だけが抜け、樹脂成分は木材内部に均一に分散されるので、①節廻りが割れにくい。②ステックマークがほとんど残らない(低温の為?) ③表面を何ミリ削っても色艶が変わらない(手垢がつかない) ④材の狂いが極めて少ない ⑤乾燥釜から出てから含水率が下がる。等々、魅力的な話が多いでしたが、機会があれば乾燥材や乾燥機自体を見てみたいものです。

【情報】

外構部の木質化支援事業施工事例集ができました！

全国木材協同組合連合会の「外構部の木質化支援事業」を活用した事例集が県木連より発刊されました。

木材を有効に利用することはSDGsに貢献する事であるとの認識から、全木連が補助金を出して外構材への木材需要拡大を図ったものです。木材で地面に接する部分はK4処理が必要で、その他の部分はK3処理か保護塗料によるJASS-18 MM307相当の処理が必要です。事例集はカラー写真で施工例を示し、部材の大きさや構造もわかります。(問い合わせは鹿児島県木材協同組合連合会へ)

【定休日】

3月は5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27

4月は2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24日となります

宜しくお願いします

令和3年度 外構部木質化対策支援事業
本県の施工事例集
令和4年1月



鹿児島県木材協同組合連合会
〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町3番2号
TEL 099-267-5681 FAX 099-267-2407

事例集

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)